



杉並区立杉森中学校
学校だより 第407号
令和元年11月30日
令和元年度 第7号

杉森中生はご家庭に支えられ、地域に見守られ、前進を続けています

副校長 福田 和子

杉並区特定課題調査生活アンケート（令和元年5月実施）から見えてくる杉森中生の姿をお伝えします。

杉森中生の多くは地域の行事やボランティア活動で活躍の場をいただいております。

小中連携校の馬橋小や杉一小の運動会、盆踊り、神明宮のキャンドルナイト等で自分ができることで地域に貢献し、その姿を地域の方々に認めていただき、見守られ、また、ご家庭の皆様に支えられていることを生徒たちもわかって安心した生活を送ることができているようです。

集中して授業に取り組み、予習・復習等でも学習への取り組みも前向きです。

地域との関わりやボランティア	杉森中	区平均
学校や家の近所で知っている人に会った時は自分から挨拶する	86.9 %	84.8 %
学校や地域・社会のために進んでボランティア活動をしている	47.1 %	35.7 %
今住んでいる地域の行事に参加している	49.4 %	44.5 %
今住んでいる地域は、自分たちの協力で、そこで生活する全ての人によりよいものにできると思う	67.9 %	68.3 %
今住んでいる地域に自分の「居場所」があると感じる	87.7 %	82.9 %
地域の人たちが学習や生活を応援し、支えてくれている	83.3 %	76.0 %

学習の取り組み	杉森中	区平均
授業に集中して取り組んでいる	90.2 %	85.8 %
興味をもったことは自分から進んで学んでいる	83.8 %	82.1 %
授業中、ペアやグループの活動で話し合う時間が多くある	88.0 %	83.3 %
自分がわかることやできることを基に他を助けることがある	65.5 %	60.2 %
授業中、自分の意見や考えを発表することがよくある	49.3 %	47.9 %
授業の予習をしている	59.0 %	53.6 %
授業の復習をしている	67.2 %	53.1 %

国際社会への関心・関わり	杉森中	区平均
日本や世界での話題について自分なりの考えをもっている	91.7 %	91.4 %
異なる言語や文化をもつ人と出会ったとき、互いの違いを認め、尊重することができる	92.4 %	87.0 %
自分が積極的に関わることで日本や世界で問題になっていることは少しでもよい方向に進む	55.8 %	63.9 %

杉森中生は将来、国際社会で輝く存在となることが期待できそうです。

杉森中はこれからも子供たちの良い面をさらに伸ばすため、充実した教育活動を、展開してまいります。ご理解・ご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。